

離島病院便り

沖縄県立八重山病院（石垣島）



常夏の島での総合診療医

佐々木医師は大学での初期研修終了後、当院の後期研修に来られ腎臓内科研修を終了されました。2012年4月より関連の沖縄県立八重山病院内科（石垣島）で勤務されています。常夏の島で実力を発揮しています

佐々木陽典

はじめまして、沖縄県立八重山病院内科の佐々木陽典です。この4月より沖縄県立八重山病院内科で勤務しています。一度は憧れる沖縄の離島での勤務、どんな感じかお伝え出来ればと思います。当院の腎臓内科では一般内科の先生の協力を得て2名体制(専従は1名)で主に下記の分野の診療を行っております。

- ・腎疾患の診療
- ・腹膜透析、血液透析患者の診察
- ・腎臓移植後の患者
- ・リウマチ膠原病診療
- ・急性血液浄化などの特殊医療
- ・一般内科診療



美しい離島の海は最高です

一般内科医として腎疾患のみならず多岐にわたる疾患への対応求められることが離島医療の特徴であり、醍醐味

また 200 床以上の総合病院ですので、専門検査としてはこの半年で以下の検査を施行しています。

- ・腎生検 5 件
- ・透析カテーテル 10 件
- ・シャント PTA 15 件
- ・腎不全患者の心臓超音波 27 件
- ・シャントエコー 9 件

なんといっても一般内科医として腎疾患のみならず多岐にわたる疾患への対応求められることが離島医療の特徴であり、醍醐味だと思いますが、そんな中でも専門医療の質の向上に努めています。

今年は早期のシャント PTA と腹膜透析の導入を積極的に行っております。今年 4 月から 9 月現在までに 5 名の新規導入を行ない、月 2 回の腹膜透析外来を開設する運びとなりました。

また、4 月から中部病院のシステムを倣って、透析室看護師の協力を得て腎不全外来を設立し、慢性腎不全患者さんの診療の質の向上に努めています。

昨年からの取り組みとして石垣島内の透析施設 3 病院での連携を進めており、今年は 3 病院合同の勉強会が開催されるようになりました！3 病院共通透析患者バスの運用も準備が進んでいます。

関節リウマチに関するも薬局の協力を得て生物学製剤導入を推進しています。守備する範囲が広く多忙な毎日ですが、その分やりがいがあります。規模の小さい病院だからこそ独自性を発揮できることが離島病院での醍醐味だと思います。看護師さん向けの勉強会も開催するようになり、これまでの研修では味わえなかった充実感を感じています。

これだけ多くのことができるようになるとは大学病院で研修をしていた頃には想像もつきませんでした。指導医との距離が近く“自分でやって覚える”中部病院での研修が思った以上に自分の力になっていることを実感する毎日です。改めて中部病院で指導して下さった先輩方の偉大さを痛感しています。